



今月の一枚

第七代護寺会会長・岡川経康氏に感謝状贈呈（令和7年2月21日・順慶寺奥座敷にて、岡川明秀氏撮影）

◆◆ 奥座敷での交代会 ◆◆

順慶寺では、三年に一度、護寺会執行部総代の交代時に奥座敷を使って交代会を催している。奥座敷は、通常、大法要などの際に布教師の先生や法中を接待する部屋となっているが、特別な引継となる執行部交代会で使用している。この日、護寺会執行部の方はお客さんとして、寺から接待を受ける。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2025年(令和7年)

3月号

VOL.377

◆ 欲張ることは自滅を呼ぶ ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「愚か者は、知識と名声を得ても
ついには自滅する。」

かれはそれによって、

自らの好運をだめにし

打ち碎かれる。」(第七十二偈)

からの出典です。

先月の寺報では、「恥を知り、執着することなく、純粹に生きるの難しい」という言葉を取り上げました。今回もよく似た内容ですが、欲張りすぎて、周りが見えなくなると自滅するという、ある意味当たり前の道理を言われる一節。ですが、それがなかなか身をもって分らないのが、愚かな私自身のありさまです。

さて、今月のところは、釈尊の^①過去物語に出ている一節です。

昔、インドのバラナシに足の不自由な人がありました。彼は、足が不自由なことを逆手にとって、毎日小石を投げる特訓をして、ついには木の葉に小石を投げて、まるでハサミを使って形

今月の釈尊の言葉



愚か者は

知識と名声を得ても

ついには自滅する



『ダンマパダ』
72偈より

若院のテーマカット NO.68



を切り取ったような形を切り出せるまでになりました。

あるとき、それを知った土地の王様が、自分を教育する宮廷祭官がいちいち口うるさいので祭官がしゃべる度に口に山羊の糞を投げ入れてほしいと頼んだところ、足の不自由な人は言われた通り、影に隠れて、祭官がしゃべり始めると祭官の口にめがけて山羊の糞を投げ入れました。するとみごとに糞が口に入り、祭官は、それから後は、口をあけて話をするのができなくなりました。

足の不自由な人は、王様にたいそう褒められ

たので、気を良くして、今度は小石を投げてみせました。ところが今度は偶然通りかかった行者にあたり、行者は運悪く死んでしまいました。このため、足の不自由な人は無間地獄に落ちたと言われています。

◇貪欲を遠ざけること◇

さて、人が欲をもつことは、悪いことなのでしょう。

欲には、食欲、性欲、睡眠欲、所有欲、生存欲、…、様々なものがあります。これら無くすことは、生きる意欲をなくすことにもなりますから、日常生活では難しいものです。

僧侶である私たちも、葬儀を終えた喪家の皆さんに、

「食べることに寝ることはしっかりしてください。ご自身が病気になるってしまつたら、お浄土お帰りなられた故人

がつかいことですから」

と話しています。故人を喪つたなかで、いのちに対する敬虔な気持ちから、当然^②精進を勧めるべきところですが、過度の精進は、心を痛めた喪家の皆さんには禁物だと考えています。

では、仏教では何をすべきではないのでしょうか。

仏教では、人間が悪い方向にむく心のあり方として、^③三毒をあげます。三毒とは、貪欲・瞋恚・愚痴を言います。その一番に上げられる、貪欲とは文字通り、貪る欲です。他と比べてもっと多くしたい、もっと良くしたい、もっと美しくしたい、など過度の欲をはたらかすことです。これは、毒ですから、他に作用すると、早速害になります。

先ほどの足の不自由な人も、この貪欲をはたらかせなければ、自滅するとはなかったと思います。

①【過去物語】

『ジャータカ』、『本生譚』とも言われる。仏教でいう前世の物語のこと。主には釈迦仏の前世による因縁を明かし、現世や来世を説いている。釈迦がインドに生まれる前、ヒトや動物として生を受けていたと記した前世の物語である。十二部経の一つ。(WIKIPEDIAより)

②【精進】

雑念を去り、仏道修行に専心すること。一定の期間行いを慎み身を清めること。

肉食を断つて菜食をすること。一つのこと

②【三毒】

仏教において克服すべきものとされる最も根本的な三つの煩惱、貪・瞋・癡を指し、煩惱を毒に例えたものである。三毒は人間の諸悪、苦しみの根源とされている。三毒の対概念は、三心所といわれ、貪↓無貪(布施↓旦那)、瞋↓無瞋(慈↓与楽)、癡↓無癡(般若↓智慧)(WIKIPEDIAより)



年が明けたらあつという間にお彼岸ですね。春のお彼岸は秋のとは違いますが?

春の彼岸くらいまでは冬の寒さが残り、秋の彼岸くらいまでは、夏の暑さが残るというのでしょうか。皆さんよくご存知のように、太陽は、夏至に向かつて高くなって日照が長くなり、冬至に向かつて低くなって日照は短くなります。お彼岸はその中間で、お彼岸の中日には、昼間の長さとお夜の長さが同じになります。

さて、お彼岸についてですが、これは前にもここで話したことがあります。つまり、春も秋もお彼岸には、太陽が真東から上がり真西に沈むので、西方の彼方にあるとされる浄土に、太陽が沈んでいくことに深い意味を見出します。彼岸というのは、私たちが住んでいる煩惱に満ちあふれるところ(此岸)に対して、煩惱がなく苦しみのない、仏さまのお心の世界という意味があります。ちよつと難しいですが、仏教には、波羅密(パーラミタ)という言葉があります。波羅密は、迷いの世界から仏ごころの彼岸に近づくといい意味があります。これを実践するために、施しをする(布施)、戒律を守る(持戒)、不平を言わず苦しみに耐える(忍辱)、怠らず励む(精進)、心静かに瞑想する(禪定)、真実の教えに目覚める(智慧)の六つの方法があるとされています。

《第五十九回 雪》

今年、各地で大雪被害が、大変だと報道されています。先日、お寺のある刈谷でも雪が少しだけ積もった日がありました。子供の頃は雪が降るのが一大イベントで、雪景色も特別なものでした。しかし、今では、道

「光陰矢の如し」 瞬きしている間に二〇二五年、令和7年となったのを感じます。そんななか、平和な日本に感謝しつつ、世界に目を向けると、不条理な戦争や深刻な環境問題、内外に問題山積です。 3月、雪解けの季節に小さな春を喜びつつ、日々を大事に積み重ねたいです。

お寺とともに

昭和一〇〇年

今年「昭和一〇〇年」、そして「戦後八〇年」の節目の年です。

ちなみに私は一九六八年生まれで、ちょうど明治維新から一〇〇年後生まれ。そう考えると明治が案外近く感じますが、やはり昭和一〇〇年と言われると、「昭和も遠くなりけり」を肌で感じてしまいます。

それでも呑気にいつまでも若い気分していると、ついこの間のことのように思い出す、小さい頃の思い出は、何と五〇年も前の出来事子供たちに若い頃の話をする時、「それって時代劇ですか?」「と、一蹴されることもしばしばです。





3月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	土	寺カフェ(9:00～、順慶寺本堂南落間他)	
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		木-1
7	金		
8	土	護寺役員年番会(15:00～、順慶寺本堂)	
9	日		
10	月		
11	火		
12	水	岡崎教区21組・門徒会研修(13:30～、一ツ木町法林寺)	
13	木		木-2
14	金		
15	土		

16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		木-3
21	金	墓地管理委員会(10:00、順慶寺玄関)	
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		木-4
28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	土		
30	日		
31	月	護寺会会計監査(10:00～、順慶寺庫裏)	

3月行事内容 詳細

護寺役員・年番会

3月8日(土)

午後3時 順慶寺本堂

令和7年度の護寺会活動が4月から始まるのを受けて、護寺役員と令和7年度年番の皆さんに集まっていたいただき、令和6年度の会計報告、行事報告、令和7年度の行事計画などの説明を、護寺会執行部および事務局から説明させていただきます。事前に案内のあった方は、万障繰り合わせてご出席ください。

二十一組門徒会研修

3月12日(月)

午後1時30分 一ツ木町・法林寺

講師 伊奈恵祐氏(西尾市安楽寺)

講師 「東西分派」

二月に続いて、二十一組寺院役職者・門徒会研修の第二回目。第一回に続いて、講師は、西尾市安楽寺住職・伊奈恵祐氏。会場は、一ツ木町の駅前にある、法林寺様にて。歴史が大好きという、伊奈先生の東西分派した経緯のお話では、郷土三英傑の信長や秀吉、家康が深く関係しており、興味深いところでした。

お知らせ

●3月から寺カフェ再開

毎年2月に休業させていただいている寺カフェですが、3月から毎月1日に開店させていただきます。

●護寺役員年番会について

3月8日、護寺役員年番会の当日、欠席される方は、御礼品の関係がありますので、必ず事前に順慶寺までご連絡ください。なお、令和7年度の行事への取り組みを正確に伝

えられるように、一地区一人以上は必ずご参加ください。

●誕生児初参り式について

今年も花祭りの当日(4月12日土曜日)に、誕生児初参り式を実施する予定です。護寺会関係者または縁故の方で、令和6年1月から12月までの間に誕生されたお子さんの方は是非この機会に申込ください。三月末日メ切。申込問合せは順慶寺まで。

じゅんこのときめき歳時記

春三日月

みなさん、2月は本当に寒かったですね。みなさんのところでは、雪はどうでしたか。

ところで、春三日月という言葉聞いたことはありませんか。三日月っていうのは、新月から三日目ごろの月をいうのですが、その三日月の弧の方向が、季節によって違うといのです。丁度春のお彼岸ごろは、釣り船のような水平な三日月、秋のお彼岸ごろは垂直の三日月になるそうです。あまり意識して見ていませんでした。

春は、秋の空のように澄んでいるのではなく、湿っぽく、風も強い

で塵や花粉も沢山出て、おぼろ月に見えることが多いのですが、ぼんやり見える幻想的な三日月もいいですね。

春三日月

鏡の中のどこに置く

上野紫泉

